

一億四千万圓の被害

大雨で小阿仁川大暴れ

二十四日夜からの雨で小阿仁川は警戒水位の二倍以上という増水を示し、春水の痛手をやつと回復しかけた合川町は、又もや二億四千万圓にもものほ大きな損害をうけた。町では二十五日直ちに水害対策本部を設置して、被害の詳細を調査する一方、国や県の関係機関に陳情した。被害の概況は次のとおりである。

▽橋梁流失 芹沢橋ほか三カ所▽田の流失 十町歩▽畑の流失 七町歩
▽田畑の浸冠水 九十%▽家屋浸水 十五戸(床上)二十戸▽堤防
欠潰 二十カ所延長五百米
この思わぬ災害のため、一日に予定されていた合併記念行事は取止めることになった。

伝染病は手から口から 赤痢や食中毒にご注意

暑さが加わると共に伝染病が目立つてくる。現在最も多い夏の伝染病は赤痢で、幸い赤痢で、幸い患者は少ないが秋田県では現在三〇〇〇人を超える患者の発生をみている。夏に多く発生する赤痢を始め、食中毒、日本脳炎を重点に次の事項をよく守りその予防に努めよう。

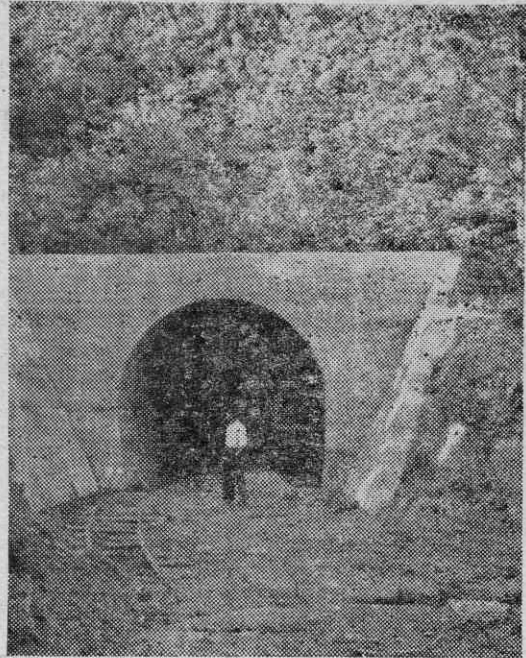
◎手洗いの励行
赤痢のうつる経路は手指からが大部分である。食物を扱う前、用便後、外出後は必ず手洗いを励行しよう。

◎飲食物の衛生
集団赤痢や食中毒の発生はたべ物の取扱いの粗末さからくるのが主原因。また不衛生な井戸や台所も伝染病のなかにちとる。早急に改めよう。

◎蚊、蚊等の駆除
赤痢や食中毒のバイキン運ぶものに、はえ、ねずみがある。日本脳炎をうつすものは蚊である。

はえやネズミ、蚊の駆除を徹底的に実施しよう。
◎暴飲、暴食、過労の防止
赤痢、食中毒の発病の多

くは、暴飲暴食をした胃腸の疲れから。
日本脳炎などは過労や長時間炎天下にさらされる



一本化して運営

国保直営診療所機構決る

去る五月の町議会において「合川町国保直営診療所条例」が可決されたので、従来三ヶ所に在った診療所は一本化された予算により運営されることになり、その名称も「本所」(旧落合)、「北分院」(旧下大野)、「南分院」(旧下小阿仁)と改められたが、町では六月一日付を以て人員の配置を次のとおり発令した。

◎合川町国保直営診療所
同 藤田 リョ

▽本所
医 科 岩淵 敏夫
医 科 渡辺 昭
医 科 柳谷 シュン
医 科 浦部 千鶴子
医 科 成田 ヨシエ
医 科 藤田 リョ

▽北分院
医 科 佐々木 静雄
医 科 佐藤 昭蔵
医 科 杉淵 テツ子
医 科 伊藤 敏

▽南分院
医 科 片桐 謙郎
医 科 祝祭 日 休 診
医 科 祝祭 日 休 診

▽休日
月曜日午後休診
火曜日 休 診
土曜日午後休診
日曜日 休 診
祝祭日 休 診

▽休日
月曜日午後休診
火曜日 休 診
土曜日午後休診
日曜日 休 診
祝祭日 休 診

▽休日
月曜日午後休診
火曜日 休 診
土曜日午後休診
日曜日 休 診
祝祭日 休 診

山奥に立派なトンネル

旧下小阿仁村では、米内沢町と共同負担によつて米内沢町本城と摩当部落を結ぶ道路、摩当沢線(延長約四軒)の工事に昨二十八年度より着手し、困難な財政事情にもかかわらず、着々とその工事を進めていたが、このほど同工事中の最難関とも云うべき隧道(トンネル)六〇米が見事完成した。

またこのほかに取付道路その他の工事も順調に進んでおり、同線の開通も近いものと思われるが、完成後は合川町奥地より米内沢町方面には上小阿仁、上大野方面を迂回することなく往來できるので住民からの期待も大なるものがあると思われる。

(写真完成したトンネル)

高額所得者ベストテン

町民はこのほど各世帯に区から四人、旧落合地区から配付されたが、税務係にまら四人、旧下小阿仁地区からとまった町民税申告書の中から二人となつており、旧下から高額所得者を一〇人ひ大野にはベストテンに入るもつてみると次のとおりで、高額所得者は一人もおらぬ地域別にみると旧上大野地 職業別では、商業四人、公屋内犯罪の半分は戸締りが

防犯のしおり

戸締りと性犯罪予防

夏になると暑いので戸締りも忘れがちとなつて、強盗忍び込み、空巣、などの侵入盗が増えている。又女性の服装が目立つてうす物になる関係で性犯罪も多くなるが、次のようなこととがらを守りこの種犯罪の絶無を期そう。

①戸締り
二階の窓やランマなどの戸締りなども忘れないようにすること。
夜間電報配達やその他の来訪者を装つて強盗に入る犯人もいるから、相手を良くたしかめてから戸を開けなければいけない。
行商、その他で空巣に早変わりする犯人もいるので、玄関などは扉間でもカギを掛けること等充分な用心が必要である。

②性犯罪の予防
性犯罪の発生は統計上からみて六月が最も多い。昨年六月東京だけで一五六件の多きにのぼつていて、また単なる痴漢の行為を含めると女性に対する犯罪は相当数にのぼる。
そこで婦人は出来るだけ夜間の一人歩きを避け、遠道二、三のり豊かな
みのり豊かな
落合盆地
無限の開拓
大野に求め
玉なす汗と

合川建設の歌
高橋喜久治氏作詞
「合川町の発展を祈る：」として、このほど本町八幡宿居住の高橋喜久治さんから次のような「新興合川建設の歌」と題する原稿をいただきましたので、町民の皆さんに披露いたしました。う。なお、どなたか作曲して下さる方がありましたらお聞かせ願いたいものです。新興合川建設の歌
作詞、高橋喜久治

腕をくみ
自然のめぐみを
受けつぎて
新興合川
愛する郷土
伸し育てよ 合川町
幾百年を
拓きし祖先の
遺訓をつぎて
風紀乱さず
邪道をのぞき
町民素質を向上し
世におくり
新興合川
その名を示せ
建設図ろう 合川町
不幸や災害
未然に防ぎ
文明文化を
隅なく入れて
意見と知識を
社会に交ひ
産業交通
発達ばかり
たゆまぬ貯蓄を
宝にと
新興合川
発展祈り
永遠に栄えあれ
合川町

愛煙家にお願

市町村に「たばこ消費税」が設けられてから、専売公社では「たばこ」の小売価格の百十五分の五を累に、百十五分の十を市町村に、それぞれ専売公社の中から納めていくが、この税金は在地の都道府県や市町村の税金になるわけである。例えば「パット」や「光」を一個買つと果税として一円三十銭が果へ、二円六十銭が市町村税として市町村へ納めることになる。わずか一円や二円でも、積み重ねれば相当の額となり赤字に苦しむ果や市町村の財政面にプラスすることになる。が甚だ大きいことなる。町内で煙草を吸う人は勿論のこと、色々な物件で他出する人も求めるようにしたいものである。

原稿を募る!!

一、論文、町民の声、随想、時事問題、短歌、俳句、川柳、コント、小中学生作文等いずれでもよく、紙上の匿名は御自由ですが、原稿には必ず住所氏名を明記のこと。宛先は合川町役場総務課広報係へ。
二、締切りは特に設けず。
三、その他原稿は一切お返しいたしません。取捨については係へ一任のこと。

